

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和2年度 第2回中小企業振興審議会
開催日時	令和3年3月26日(金)10時30分～12時
開催場所	301会議室
議 題	<p>(1) 新型コロナウイルスへの対応について（令和2年度実施分）</p> <p>(2) 新型コロナウイルスの影響を受ける市内中小事業者の傾向分析について</p> <p>(3) 令和3年度の新規事業について</p> <p>(4) その他</p>
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	<p>松岡委員、山下委員、米田委員、赤松委員、川北委員、竹内委員、西尾委員、濱中委員、増田委員、人見委員、松本委員、宮川委員</p> <p>（出席委員12人／欠席委員2人）</p>
傍 聴 者	6 人 （定員 5 人）
担当課及び連絡先	<p style="text-align: center;">産業振興課 産業支援・労政係</p> <p style="text-align: center;">839-2411</p>

審議経過及び審議結果

～委員改選後初の審議会であるため、議題審議に先立ち、委員の互選により会長に竹内委員を、また会長の指名により副会長に松岡委員を選任。

～事務局より

議題（１）新型コロナウイルスへの対応（令和２年度実施分）について、配布資料をもとに説明～

- ① 事業者への支援施策について
- ② 事業者への資金繰り支援について
- ③ かがわ正社員就職フェアの開催について

～事務局より

議題（２）新型コロナウイルスの影響を受ける市内中小事業者の傾向分析について、配布資料をもとに説明～

（委員）

業種ごとの市内の総事業者数が分かれば、もっと具体的な議論ができる。また、実際に融資を受けた事業者の財務状況に関する追跡調査を実施するべきと考える。

（事務局）

業種ごとの市内の総事業者数については、現状では捕捉しきれていないため、今後の課題としたい。融資を受けた事業者の追跡調査に関しては、個別の事業所名が公表の対象となっていないので、実施できない。ただし、セーフティネット保証等の認定申請を複数回している事業所については確認しているので、今後、そのあたりを反映した分析を行いたい。

（委員）

建設業の中で、内装工事業がなぜ多いのか。

（事務局）

その要因分析には至っていない。

（委員）

売上高が減少する理由の記述欄について、全ての意見を見ることはできるのか。

（事務局）

記述欄の記載内容を取りまとめて報告することは可能。

（委員）

信用保証協会でもアンケート調査を行っているので連携を図り、データを収集できないのか。

（事務局）

今後、信用保証協会に依頼したい。

（委員）

この分析結果を施策にどのように反映しているのか。また、実際の融資額についても捕捉し、業種毎の融資額が確認できれば、その業種の営業を継続するための規模感がわかるのではないか。

（事務局）

信用保証協会からの提供データの充実については、今後調整したい。本市では、特別経済対策としてテナント賃料給付金や飲食業・宿泊業への応援金など実施してきましたが、今後、これらのデータも活用していきたい。

～事務局より

議題（３）令和３年度の新規事業について、配布資料をもとに説明～

（委員）

経営相談事業について、相談希望を調査しているのか。

（事務局）

セーフティネット保証等の認定を発行している全事業者へ案内状を送付した上で、希望があった事業者に対して実施している。

（委員）

事業者も、行政も、新型コロナウイルス感染症が収息した時の着地点について考えなければならない。きめ細やかな支援ができる方策を検討してほしい。無利子融資を実施するのは良いが、融資はやはり返済しなければならない。今回の国のゼロゼロ融資に関しても、利子補給の終了する３年後や、元本の返済が始まる５年後を迎えることに対して非常に不安を抱えている。

（事務局）

経営相談に関して、現在、１月末までに認定を出した全事業者へ案内を送付しているが、希望する事業者の割合は１％程度にとどまっている。ただし、最初に案内状を送付した時と現在では状況が変わっていることも考えられるので、再度案内を送付するなど対応していきたい。また、新しい施策を計画する際には、国や県の施策・事業との連携や保管に配慮しながら検討していきたい。

議題（４）その他

（委員）

香川県よろず支援拠点について、Setouchi-i-baseに常設サテライトを開設することになった。また、令和３年度の新たなチラシを作成した。

（委員）

今年度実施したPayPayと連携したキャッシュレスキャンペーンはとてもよい取組であったと思う。